

Cabellsはアメリカ（テキサス州）の企業で、研究発表の場として信頼できる出版物かどうかの調査や、論文投稿先の選定・出版までのプロセスをサポートするサービスを提供しています。主要な学術出版社、雑誌編集者、学協会等とのパートナーシップを通じて、世界中の750以上の機関に、学術雑誌の最新情報を提供しています。
<https://www.cabells.com/>

Predatory Reports (旧 : Cabells Journal Blacklist) は ハゲタカジャーナル情報を検索できる唯一のデータベースです

ハゲタカジャーナル :

研究者や学術機関から、論文掲載料を搾取することを目的とした悪質な雑誌

投稿してしまうと :

- 高額な料金を請求される
- 研究者自身・所属機関の信頼・評価に傷がつく
- その他、多くの問題が発生

でも、判断は
難しい！

近年急増！



Predatory Reportsは、Cabellsのスペシャリストが、**査読、出版、指標、料金など70以上の項目※**を分析して選定した17,000以上の疑わしい雑誌の基本情報（タイトル、ISSN、分野等）に加え、分析により**発見された問題点を掲載しています**。(2024年2月現在)

- * 70以上の分析項目は下記サイトで公開されています。(Cabells Predatory Report Criteria v 1.1)
<https://blog.cabells.com/2019/03/20/predatoryreport-criteria-v1-1/>
- * 参考文献『オープンアクセス型学術誌の進展により顕在化する「Predatory Journal」問題』
雑誌情報: STI Horizon, Vol.8, No.2、発行者: 文部科学省科学技術・学術政策研究所 (NISTEP)
<https://doi.org/10.15108/stih.00299> (著者: 井出 和希 氏、林 和弘 氏)

分析項目の一部 :

- 実際には営利企業であるのに、非営利だと主張している
- 偽のISSNを使っている
- 記載されている編集者が存在しない
- 誤解をうむような指標をつかっている (例: インパクトファクターという指標を使っているが、クラリベイトのものではない)

◇ **Predatory Reports 国内導入機関 :**

室蘭工業大学様、順天堂大学様、一橋大学様、
その他（国立総合大学、私立総合大学、研究機関など）

◇ **順天堂大学様 Cabells Predatory Reports導入事例 :** [PDF](#)



【日本総代理店】

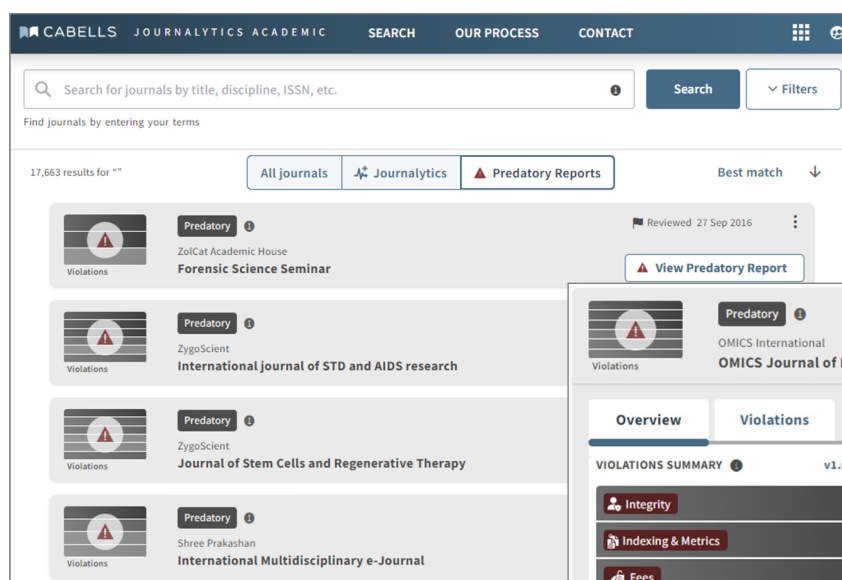
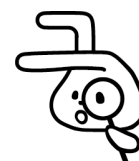
ユサコ株式会社

Predatory Reports 導入目的

研究者：投稿前に信用できる雑誌かチェック

管理者：研究者の業績に問題がないかチェック

図書館：研究者に情報提供 / 信用低下のリスク軽減 / 限られた予算を守る



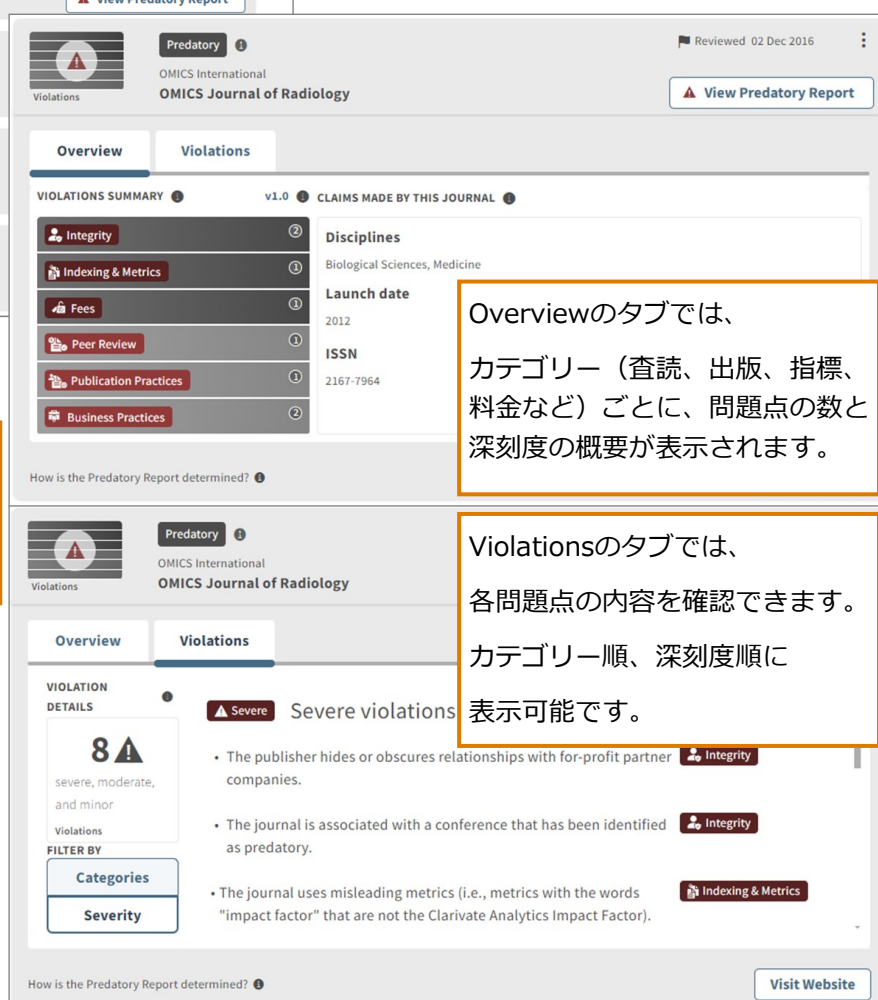
トップページ

検索ボックスよりタイトルなどのキーワード、出版社名、ISSNなどで検索できます。



各雑誌の詳細画面

詳細画面には、OverviewとViolationsのタブがあります。



Overviewのタブでは、カテゴリー（査読、出版、指標、料金など）ごとに、問題点の数と深刻度の概要が表示されます。

Violationsのタブでは、各問題点の内容を確認できます。カテゴリー順、深刻度順に表示可能です。

契約形態など：

- ・法人契約で提供（個人契約は不可）
- ・年間購読
- ・IPアドレス認証
- ・利用統計取得可



お見積依頼やご質問などございましたら、下記まで遠慮なくご連絡下さい。

弊社HP：Cabellsのページのお問合せフォームもご利用頂けます。

<https://www.usaco.co.jp/product/detail.html?pdid=217>



【日本総代理店】



ユサコ株式会社 研究支援事業部：〒106-0044 東京都港区東麻布2-17-12

E-mail: product@usaco.co.jp

<https://www.usaco.co.jp/>

202402_CABELLS_PREDATORY